

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1
健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課長 山崎一幸 電話番号 0852-22-5248

事務事業の名称	原爆被爆者対策事業	
目的	(1) 対象	原爆被爆者及びその二世
	(2) 意図	必要な療養や健康の保持ができるようにする
事業概要	○助成事業・・・・・・原爆被爆者の健康を保持するため、疾病にかかっている者等に対して、各種手当を支給する。 ○健康診断事業・・・・原爆被爆者等の健康を保持するため、被爆者及び二世に対して、健康診断を実施する。 ○死没者慰霊事業・・・死没者の尊い犠牲を銘記するため、慰霊式典等の経費の一部を補助する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 原爆被爆者健診受診率	目標値		60.6	60.6	60.6	60.6	%
	式・定義	取組目標値						
	前期の受診者数/受診対象者数(前年度末手帳所持者数-施設入所者数:7月末)	実績値	57.2	50.2	49.8			
		達成率	-	82.9	82.2	-	-	%
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	483,957	473,374
うち一般財源(千円)	11,033	30,917

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 被爆者健康手帳所持者数(平成29年度末) : 918人
- うち、原爆手当受給者数 : 855人
- 一般健康診断実施件数(平成29年度) : 932件
- 介護保険等利用被爆者助成件数(平成29年度) : 4,001件
- 死没者慰霊式典(平成29年度) : 10月18日開催

6. 成果があったこと(改善されたこと)

被爆者数は減少しているものの、介護保険等利用助成件数は増加しており、制度周知に一定の成果があったことがうかがえる。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

被爆者への健康診断等の支援制度の情報の伝達や被爆者の医療機関への受診が難しくなっている。

②困っている状況が発生している「原因」

被爆者の高齢化や独居化が進んでいる。

③原因を解消するための「課題」

高齢及び独居の方ほど、より手厚い支援が必要であり、支援の情報を本人、関係者に的確に周知することが必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

申請、問い合わせに的確に対応するとともに、被爆者相談員の研修会などの機会に助成制度や健康診断の周知を図る。